

一般質問発言通告書

議席番号 20 番 氏名 西田清久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 あらゆる災害時の対応について

(1) 防災行政無線屋外拡声子局について

- ① 浜田市では、防災行政無線のデジタル化によって緊急時の情報伝達を一層推進されようとしている。しかし、農業など屋外での仕事や災害避難中などにおいても防災行政無線屋外拡声子局の持つ役割は、大変重要と感じている。
現在の浜田市全体の屋外拡声子局のカバー率について市の認識を問う。

(2) 豪雨災害の避難シミュレーションについて

- ① 浜田市では、河川の本流、支流の周辺で生活をされ、集落を形成されている地域が多いと思う。豪雨災害を想定し、それぞれで自主防災組織を立ち上げ、避難訓練も実施されていると思うが、第一避難所がレッドゾーンになるケースもあると伺った。豪雨災害を大きく予測して地域まるごと集団避難をするシミュレーション訓練の必要性について問う。
- ② 幼稚園、保育所等幼児の避難訓練や防災シミュレーションの現状について問う。
- ③ 毎年行われる防災訓練については、街中や山間地では状況が違う。誰一人残さない地域の実状に即した現実的な防災訓練が行われているのか問う。

(3) 「熱中症」対策について

- ① 今年も市民の安全や健康を守るための熱中症対策について市長の所見を問う。

2 浜田市消防の体制について

(1) 消防の人員体制について

- ① 浜田市の消防本部、各出張所の人員体制の充足についての認識を問う。

(2) 職員の計画的採用について

- ① 浜田市の消防職員は、平成3年度から3年間程度10～20名が大量採用されると聞く。近い将来、一斉退職により人員不足が生じないよう計画的に採用すべきであると思うが、今後の採用計画について問う。

(3) 林野火災について

- ① 消防本部として林野火災の防止策、対応策の取組について問う。
- ② 林野火災の対応として、防火帯の設置が考えられるが、森林伐採に慣れた伐採事業者との協力が必要と考える。これまでに事業者との連携はあるのか問う。
- ③ 延焼が広がり、市の消防本部だけではどうにもならない場合、県内あるいは県外からの協力体制は出来ているのか、また連携協定はあるのか問う。